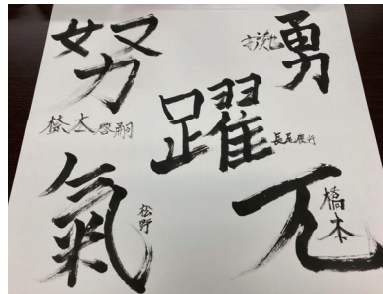


君のコンさる今日も視界良好

⑤ 「社員の教育」 中小企業診断士 長尾康行

当社では毎週月曜日に15分程度の掃除を行い、一時間程度の週会議を行います。掃除は事務所をきれいにし目的もありますが掃除をしながらのコミュニケーションや気づき力、協力し合う文化を醸成するために取り組んでいます。掃除の分担は代表である私も先輩も新人も関係ありません。拭き掃除や掃除機、消毒などを“あみだくじ”で決めます。掃除は「楽しく丁寧に」を心がけて各々がやってくればそれで十分です。掃除後の会議も数字の報告のみならず、今月の重点目標や日々の困りごとを報告し、30分から1時間程度で終わります。全社員でコミュニケーションをとる機会はそれほどありませんが、業務中においてもコミュニケーションは密にとっており、風通しも良い会社になったと自負しております。

一方で社員間のコミュニケーションや教育に問題を抱えておられる企業様も数多く存在します。組織の発展なくして会社の発展はありませんので、組織上の問題は早めに解決しなければなりません。組織上の問題を抱えている企業様には「経営方針書」を当社とともに作成するようにお勧めしています。経営方針書は予算や年度方針だけでなく、求める人物像や社内のルール、規範的な考え方や会社のビジョンや大切にしている価値観などをまとめたものです。特に私が大事にしているのは「求める人物像」という章です。当社では実務能力はさることながらコミュニケーション力や他人のために貢献しようとする意欲、成長意欲、最低限のビジネスマナーなどを備えているかを重視します。このようなことを教育していくのは難しいように思いますが、冒頭に申し上げた15分の掃除だけでも十分な教育の場となります。コーヒークップの洗い物やゴミ袋の交換を積極的に行う人、誰かがやっている姿を見て御礼を言う人、次は自分が積極的にやろうと思える人を増やすように指示していけば社風が良くなります。難しい座学や仕掛けは必要ありません。成功するポイントは経営者が率先して取り組むことです。その姿を見て多くの社員が自発的にやっていきます。何事も経営者が率先しなければなりません。掃除の場で協力体制やコミュニケーション、積極性を醸成していきます。そして、仕事が始めれば実務上のコミュニケーションをしっかりと取りながら、協力して成果を出していきます。誰でもいつでも相談できる環境を整えるのは時間的な制約もありますが、忙しくてもピリピリの雰囲気を出さずに、上司から積極的に困りごとがないか声をかけていくことが望ましいです。私はシンプルな社員教育が組織の発展と会社の発展につながっていることをこの1年実感していますので、業績面でも目に見えぬ形で向上させていきたいと思っております。今日3月1日は当社の経営方針の発表を行います。皆様にもまたフィードバックさせていただければと思います。



【新年に全員で書初めた半紙を「裏打ち」という作業でシワをなくし、画用紙のように整えていただきました。事務所に飾って、新年の気持ちを忘れないようにしたいと思っております】

⑥ 「なぜ？」を「なに？」に変える」 中小企業診断士 木戸貴也

目標に対して未達の場合、ミスをした場合など「なぜ未達なのか?」「なぜミスをしたのか?」と相手に対して「なぜ?」と問いかけてしまうことはないでしょうか。つい無意識のうちに出てしまうことが多いと思うのですが、これを言われた相手は委縮し、ガードを固めてしまい、問題を解決することができません。そこで意識することは、常に「なに?」に置き換えることです。例えば、「何が目標に対して不足していたのか?」「何をやればできたのか?」「何をすればミスを防げるのか?」と考えることで、相手を責めるのではなく次へ思考を展開することが出来ます。仕事でも家庭でもつい「なぜ?」と言ってしまっているのではないかとふと感じたので、自責の念を込めてこのテーマを選びました。



⑦ 「Walking&Running」事務担当 松野あやか

新型コロナウイルス感染症の影響で、私の趣味である買い物や友達と食事をする事ができなくなりました。仕事上で、事務所にいることが多く、体を動かす機会がとてもないので、最近の休日は、近くの公園にウォーキングに行くことが多くなりました。私は音楽が好きなのでお気に入りの音楽を聴きながらウォーキングをします。ウォーキングをしている際は、無心で気持ちが楽になります。悩んでいることや落ち込んでいてもウォーキングが終わると身体がすっきりし、次の日の目覚めも良い気がします。こんなことで悩んでいても仕方ないと精神的な変化も感じることが出来ます。もう少しで春が到来し、ウォーキングやランニングがしやすい季節にもなりますので、ぜひおすすめしたいです。



⑧ 「アナログな生活」橋本啓嗣 (ならもとけいじ)

最近、通勤電車内を見渡すと若男女問わずほぼ全ての人々がスマートフォンを操作していることに気付きます。スマートフォンで物が買えたり、本が読めたり、情報を見たりなど、使用用途は人それぞれ違いますが、この10年で使用率が大幅に上昇しています。使用自体は人の自由ですが、圧倒的に便利でスピーディに情報を入手できることがメリットのはずが、情報が多すぎて不必要な情報すら閲覧し、時間を浪費してしまっているように感じます。私は少なく見積もっても、1日に最低でも累計して30分はスマートフォンを操作しています。もちろん、連絡を取るために必要で、操作を行なっている場合もありますが、ほとんどが触ることが習慣化してしまっているように感じます。特に無駄に操作している時間が多いのは、業務を終えた帰宅後であると感じています。仮に、1日無駄に操作している時間が30分と仮定して、この時間を削減して他の事に当てる時間と考えると、平日5日間で150分時間にして2.5時間、月20日と想定して600分時間にして10時間他に当てられる時間を捻出できるわけです。これは、無駄な操作をしている時間が最低30分と仮定しているので、本当はもっと多くの時間を無駄に浪費している可能性があります。そこで、3月より21時以降に通知が鳴らないように設定をし、スマートフォンを操作せず無駄な時間の削減を図ろうと思います。文明の発展とともに、いろいろなことが短時間でできるようになりましたが、必要な時間が短縮されたことにより、無駄な事に費やす時間が増加し、結果として時間に追われるように感じているので、あえてアナログな時間を増やして時間の捻出を図ろうと思います。



⑨ 「人として大事なこと」インターン生 橋本大治

先日、中学生の妹を叱る機会がありました。その際に叱った内容が人として大事なことについてです。あくまでも持論なのですが、感謝、謝罪、挨拶さえ出来れば優秀でなくても生きていけると思っています。これは剣道、空手を通して学んだ礼儀であり、人として出来て当たり前のように思われることです。しかし、昨今ではこれらを出来ない人達も一定数見受けられます。どれだけ社員として優秀でも、学生として優秀でも、選手として優秀でも、人として大事なことを見失ってしまっただけの人としての価値はたかが知れているのではないかと思います。目の前の事に精一杯になり周囲への礼儀が疎かになることも時にはあるかもしれませんが、それが当たり前になってはいけなく妹に伝えながら、果たして自分はどこまでできているのだからとも思いました。フラッグシップ経営では社員として尊敬できるだけでなく、当たり前のことを当たり前出来る、人として尊敬できる方ばかりです。自身も社内に相応しい人間であるために、しなければならないことに追われても、大事なものを失わないように時折、省みたいと思っております。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒542-0081 大阪市中央区南船場 4-12-8 関西心齋橋ビル 8階

TEL : 0120-34-8776

FAX : 06-7635-8214

MAIL : info@flagship-keiei.co.jp

URL : www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中!

